

# 家族社会学

選 択 開講年次：2年次前期 科目区分：講 義 単 位：1単位 講義時間：15時間

■**科目のねらい**：人間生活の基礎的単位である家族が、現代社会で大きく変化しつつある現状を見据えながら、社会や地域における家族の役割と生活の場として家族が個人に果たす役割や機能について理解する。

■**到達目標**：家族と社会、家族と個人の関係についての関心や理解力を得ること。家族社会学の基礎的な専門用語を習得すること。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

◎原 俊彦・小田 和美・松浦 和代

■**授業計画・内容**：

- 第1回 家族をどう捉えるか？
- 第2回 日本の家族：特徴とその変化
- 第3回 配偶者選択と家族形成（恋愛・結婚・出産）
- 第4回 配偶者選択と家族形成（離別・死別・再婚）
- 第5回 ライフサイクルの変化と家族の多様化
- 第6回 家族機能と社会的支援（老親の扶養）
- 第7回 家族機能と社会的支援（子どもの養育）
- 第8回 家族機能と社会的支援（子どもの養育）

■**教科書**：『新しい家族社会学』／森岡清美・望月菫（培風館）¥1,837

■**参考文献**：『テキストブック 家族関係学』山根常男編著（ミネルヴァ書房）¥2,940

『家族ライフスタイルの社会学』／デイヴィド・チール著 野々山久也監訳（ミネルヴァ書房）¥3,150

『これからの家族関係学』／土屋葉編（角川書店）¥2,100

■**成績評価基準と方法**：3回以上欠席すると不合格になります。また受講態度（遅刻、居眠り、おしゃべり）が悪い場合は減点します。授業中に出す課題の採点結果と受講態度で上記の到達目標の達成度を評価します。

評価方法	到達目標	評価基準	評価割合 (%)
授業態度	○	授業中の居眠り、おしゃべり、遅刻などは減点の対象とします。	
課題・作品	◎	課題(4ないし5回)の評価点合計(100点満点)	100%
出席	○	3回以上欠席した場合は、不合格	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：共通教育科目「現代社会と家族」

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：本講義では1年次に開講される共通教育科目「現代社会と家族」の内容をベースに、より専門的な概念や分析方法などを紹介し、将来、必要に応じ、対象者の家族関係を分析・記述・把握する力を養うことを目指している。従って1年次に「現代社会と家族」を履修していることが望ましい。